

三重県へ『中小企業・小規模事業者の活力強化』『地方創生の加速』 の2本柱および県内12商工会議所から地域要望などを要望

三重県商工会議所連合会

三重県商工会議所連合会（会長 岡本直之）は、令和元年9月9日（月）三重県へ令和2年度の政策・予算に関する要望をおこないました。

当連合会からは県内の全商工会議所の会頭・副会頭・常議員、12名が一堂に会し、三重県側は鈴木英敬知事をはじめ、関係部局から13名が出席し、岡本会長が鈴木知事に要望書を手渡しました。



要望内容はⅠ中小企業・小規模事業者の活力強化で5項目、Ⅱ地方創生の加速で5項目、Ⅲ地方創生に係る地域要望で12商工会議所から個別に要望しました。

岡本会長は、挨拶の中で「中小企業のチャレンジ支援と商工会議所の体制強化」や「リニア中央新幹線の三重・奈良ルートでの早期開通とチャンスを生かすための中長期的視点に立った大型プロジェクト推進が必要」と述べ、その後、吉仲専務理事から概要を説明し、出席の会頭・副会頭・常議員からそれぞれ地域課題や提言・要望を発言しました。

鈴木知事は各会議所の発言に対し時間を掛け、丁寧にコメントを述べられ、「それぞれ地域の課題に基づく要望であり、しっかり検討してゆきたい。限られた予算の中であるが、計画的、重点的、効果的に施策を展開していきたい」と話されました。

その後、会場を都シティ津に移し、鈴木知事、渡邊副知事、稲垣副知事、増田雇用経済部長次長、安保観光局次長、上松中小企業・サービス産業振興課長の出席のもと、懇談会を開催しました。



▲ 鈴木知事への提言・要望活動の様子